

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年12月4日
【事業年度】	第98期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	株式会社千葉興業銀行
【英訳名】	The Chiba Kogyo Bank, Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役頭取 梅田 仁司
【本店の所在の場所】	千葉市美浜区幸町2丁目1番2号
【電話番号】	(043)243-2111(代表)
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営企画部長 田中 啓之
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋堀留町2丁目3番3号 堀留中央ビル5階 株式会社千葉興業銀行 東京事務所
【電話番号】	(03)5695-1511(代表)
【事務連絡者氏名】	東京事務所長 中村 徹
【縦覧に供する場所】	株式会社千葉興業銀行 東京支店 (東京都中央区日本橋堀留町2丁目3番3号 堀留中央ビル5階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年6月25日に提出いたしました第98期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績等の状況の概要

財政状態及び経営成績の状況

（自己資本比率の状況）

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

財政状態の分析

ホ．連結自己資本比率（国内基準）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

財政状態及び経営成績の状況

(自己資本比率の状況)

(訂正前)

<略>

連結自己資本比率(国内基準)

(単位:億円、%)

	2020年3月31日
1. 連結自己資本比率(2/3)	8.27
2. 連結における自己資本の額	1,540
3. リスク・アセットの額	18,623
4. 連結総所要自己資本額	744

単体自己資本比率(国内基準)

(単位:億円、%)

	2020年3月31日
1. 自己資本比率(2/3)	8.17
2. 単体における自己資本の額	1,500
3. リスク・アセットの額	18,355
4. 単体総所要自己資本額	734

(訂正後)

<略>

連結自己資本比率(国内基準)

(単位:億円、%)

	2020年3月31日
1. 連結自己資本比率(2/3)	8.26
2. 連結における自己資本の額	1,540
3. リスク・アセットの額	18,626
4. 連結総所要自己資本額	745

単体自己資本比率(国内基準)

(単位:億円、%)

	2020年3月31日
1. 自己資本比率(2/3)	8.17
2. 単体における自己資本の額	1,500
3. リスク・アセットの額	18,358
4. 単体総所要自己資本額	734

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

財政状態の分析

ホ．連結自己資本比率（国内基準）

（訂正前）

自己資本の額は、第二種優先株式の一部取得及び消却等により、2019年3月末比27億円減少して1,540億円となりました。リスク・アセットの額は、貸出金の増加等から、2019年3月末比626億円増加して1兆8,623億円となりました。

以上の結果、連結自己資本比率（国内基準）は、2019年3月末比0.44ポイント低下して8.27%となりました。

	2019年3月31日 (%) (A)	2020年3月31日 (%) (B)	増減(%) (B) - (A)
連結自己資本比率（国内基準）	8.71	8.27	0.44

（訂正後）

自己資本の額は、第二種優先株式の一部取得及び消却等により、2019年3月末比27億円減少して1,540億円となりました。リスク・アセットの額は、貸出金の増加等から、2019年3月末比627億円増加して1兆8,626億円となりました。

以上の結果、連結自己資本比率（国内基準）は、2019年3月末比0.44ポイント低下して8.26%となりました。

	2019年3月31日 (%) (A)	2020年3月31日 (%) (B)	増減(%) (B) - (A)
連結自己資本比率（国内基準）	8.70	8.26	0.44